

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

5

May 2016
No.759



つながろう！エイジレス(柏崎市)

エイジレス講座大交流会です。すべての講座の受講生がズンバでつながる瞬間です！

4~5 特集 「新任職員のみなさんへ」~ようこそ公民館へ~

事務局長 田原 理

CONTENTS

- | | | |
|---|------------------|---|
| 2 | トピックス | 関ブロ開催 今年は神奈川県・相模原市 |
| 3 | 視点
ひろば
掲示板 | 「公民館と学校の連携・協働」 新潟県教育庁生涯学習推進課 副参事 中川 日里
「老化」 関川村公運審委員 新野 明美
生涯学習推進職員研修会「基礎研修会」開催 |
| 6 | 実践記録シリーズ | 地域に根ざした公民館分館事業 加茂市公民館 |
| 7 | サークル交流
素顔拝見 | 「今日もニコニコいい汗かこう」(新潟市) / 「希望」(燕市)
長谷川潤也さん(胎内市) / 高橋 咲子さん(新発田市) |
| 8 | お元気ですか
恵贈資料紹介 | 「困っています」 田上町・池田 茂さん |

TOPICS

関ブロ開催 今年も神奈川県・相模原市

今年の関東甲信越静公民館研究大会(関ブロ大会)は神奈川県相模原市で開催されます。神奈川県公民館連絡協議会では、大会開催に向けて準備を進めています。

今年の大会から全国7ブロックの大会が全国大会を兼ねる方式になりました。その最大のメリットは、大会主題等により全国の希望ブロック大会に参加できることです。ブロック別大会期日、会場は次のとおりです。

- 1 北海道ブロック大会
10/6、7 北海道鹿部町
- 2 東北ブロック大会
10/20、21 福島市
- 3 関東甲信越静ブロック大会
8/25、26 相模原市
- 4 東海・北陸ブロック大会
10/20、21 岐阜県高山市
- 5 近畿ブロック大会
10/20、21 和歌山市
- 6 中国・四国ブロック大会
9/8、9 山口市
- 7 九州ブロック大会
8/25、26 宮崎市

各ブロック大会の開催要項等の資料は県公連事務局にあります。また、開催地には実行委員会が組織されていますのでホームページを参照してください。4月現在までに決定している関ブロの開催概要は次のとおりです。

- 1 大会開催日
平成28年8月25日(木)・26日(金)
- 2 大会テーマ
「今、なぜ公民館が必要とされているのか？」
公民館の存在意義を問う
- 3 会場
全体会場 相模女子大学
分科会会場 市内5会場
- 4 大会日程
〈第1日〉
11:00～ 受付
12:15～
アトラクション
方言劇
開会行事
表彰等



相模女子大学

13:30～14:15

基調講演

講師 牧野 篤
(東大教授)

「公民館の本質と役割」
地域再生・未来への挑戦

14:30～16:15

パネルディスカッション

「公民館が果たすひとづくり・まちづくり」
コーディネーター
齋藤 ゆか氏
(聖徳大准教授)

パネリスト

宮城 潤氏
(那覇市公民館長)

中村 洋子氏
(相模原市公連協)

文部科学省職員

アドバイザー
牧野 篤氏
(東大教授)

16:20

閉会行事

18:00～20:00

情報交換会

〈第2日〉

9:00～ 受付

9:30～11:55

分科会

事例発表・研究協議

*第9分科会で二条市が事例発表します。

11:55 閉会

大会開催要項は各市町村中央公民館に送付します。また、5月20日(金)の評議員会で留意点等を説明します。参加申込みは、

市町村ごとに取りまとめて要項に記載の手順で申込みしてください。締め切りは7月1日(金)です。

大会の問い合わせは、県公連もしくは次の大会実行委員会にお願いします。

大会実行委員会
(神奈川県生涯学習課)
担当: 藤沖、豊田

電話
045・210・8347

FAX
045・210・8939

5月12日(木)に相模原市で関ブロ理事会が開催されます。会長(関ブロ監査役)と田原事務局長が出席します。大会の詳細が審議されますが、新たな留意点等は本紙6月号に掲載します。大会会場は新宿駅、新横浜駅から30分程度の所で交通アクセスの良いところです。どうぞ多数の参加をお願いします。
(田原)



「老化」

関川村社会教育委員
公民館運営審議会委員
新野 明美



自分の体にもまちがいがなく老化はきているようだ。考えてみると8年程前から始まっていたようだ。老化とは知らずに…。最初にやってきたのが老眼…。目がかすんで文字が読めない。眼科に受診し眼鏡を調整した。次にやってきたのが膝関節の痛み…。立とうとすると痛くて立てない。医院に受診し注射で一時をしのぎ「痛くなったらまた来なさい」とのこと。次にやってきたのが肩の痛み…。ゆっくり着替えて医院に受診し注射で一時をしのぎ「四十肩・五十肩です。痛くなったらまた来なさい」とのこと。次にやってきたのが歯痛…。歯茎と頬が腫れて痛みはない。すぐ医院に受診した。「神経が死んでいて熱いも冷たいも感じなくなっています。暫く通院するよ」とのこと。その他いろいろと…。運動不足もあるらしい。得意な方ではないのでどうしても遠ざかってしまふ。日常的に運動をしている人と比較するとその差は大きい。そこで今年、公民館事業の中の「健康教室」で、骨盤体操・エクササイズというのがある。昼の部・夜の部受付時となっている。これに挑戦しようと思っている。はたしてどうなることやら…。

視点



新潟県教育庁生涯学習推進課
副参事 中川 日里

「公民館と学校の連携・協働」

みなさんは、「学校は、敷居が高い。」と感じていらっしゃいますか？
 昨年の県公民館大会で事例発表を聞き、「公民館と学校、地域と子どもたちが一緒になってイベントを創れるなんて、すてきだ。こんな学校に勤めてみたい。」と思いました。
 この1年の間に、公民館と学校が連携した取組、子どもを対象にしたプログラムなどを聞かせていただく機会がありました。
 ・公民館の講座で学んだ合唱を、小学校の文化祭で発表している。
 ・文化財である住宅に小学生が宿泊体験できる

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていく活動を「地域学校協働活動」として積極的に推進することが必要



・公民館宿泊しながら通学する
 ・公民館の人材バンクを学校の授業等の講師やボランティアに活用している
 平成27年12月に取りまとめられ中央教育審議会の答申には次のことが示されています。
 この「地域教育活動」には、もちろん公民館の活動も含まれています。
 学校だけではできない子どもたちのための活動があり、公民館だからこそできる、学校との協働活動があるのではないのでしょうか。
 各学校では、「地域連携担当教員」が位置づけられています。公民館と学校が連携した事業やイベントの相談をもちかけてみてはどうでしょうか。
 キーワードは、「公民館と学校の連携・協働」。公民館職員の皆さんには、地域と学校をつなぐコーディネートを期待しています。地域の実情に応じて、子どもたちの発想を生かした取組ができたら、いいですね。

掲示板 HOT NEWS

生涯学習推進職員研修会「基礎研修会」開催

県立生涯学習推進センターでは、職員資質向上のための研修会を開催します。

- 1 期日、テーマ
 - 1 4月26日(火)「基礎」講師:鈴木 眞理(青学教授)他
 - 2 5月24日(火)「企画、運営」
講師:越村 康英(千葉大講師)
 - 3 5月25日(水)「企画、運営」
講師:越村 康英(千葉大講師)
 - 4 11月22日(火)「推進方法」

- 講師:左京 泰明(シブヤ大学長)
- 2 会場 県立生涯学習推進センター
- 3 申込み、問い合わせ
県立生涯学習推進センター
〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2
TEL025-284-6110 FAX025-284-6019
申込みは随時。定員あり。先着順。
- 4 その他 1～4までの連続の参加が基本ですが、単独参加も可。

特集

「新任職員のみなさんへ」「ようこそ公民館へ」



新潟県公民館連合会
事務局長
田原 理

1 公民館に異動になってうれしいですか

あなたは公民館に異動になって、「うれしい」「希望がなかった」と感じている人ですか。それとも「えーっ」「なんで私が…」と残念がっている人ですか。「うれしい」人も「えーっ」の人も、しばらく公民館の仕事をしていると、公民館の仕事はやがて自分が思っていた職場とはちよっと違うことに気づきます。一番の違いは、他の部署にはある仕事マニュアル(手続き手順、住民対応など)が公民館にはないに等しいことです。なにもに等しいという事は、ないわけではなく、それに頼っているのは良い仕事ができないということなのです。マニュアルがないということは、厳しいですね。特に新人にとっては。

2 どうせ異動するのだから…

公務員は、民間企業のように利潤を生むための経営体ではありません。あなたの賃金は、住民の税金で補償されています。したがって、あなたの仕事は住民のために全力で尽くさなければならぬものであるはず

です。ところが、公民館の職場ではなかなかそうはならない現実があります。それはまた数年で他の職場に異動するからです。「どうせ異動するのだから…」とさめた考えで仕事に身が入らないことにつながってしまいます。

3 こんな話を聞きました

ある研修会で参加者から「異動するとき上司から2、3年たったら本庁へ戻すからと言われてきたので仕事に身が入りません」と質問がありました。研修会で平気でこんな質問をした職員がいたそうです。この職員は「5年いたら仕事に身が入るのでしょか」「10年なら」「退職までなら」。

私たち公務員は、いつどんな職場に異動するかわからない状態で仕事をしています。ですから、どこへ異動しても、その職場でベストを尽くすということが私たちの基本姿勢でなければならぬと思います。最低のモラルです。そうでなければ住民のために役立つ仕事ができないと思います。「次の異動まではどの程度の仕事に…」などと思っている人は公民館職員として失格です。公務員としてもだめでしょう。

自分の仕事に意欲と責任を持ち努力しようと思わない職員は、まちがいに職場の同僚に迷惑をかけることです。一番困るのは住民にも迷惑をかけることです。いい加減なら、同僚も住民も不愉快です。

4 働きがいのある職場

公民館は、全ての職員にとつて働きがいのある職場でなければならぬでしょう。同時に利用者にとつても快適な学びの場として機能していなければならぬ社会教育機関です。公民館で仕事をするに意欲と責任を持つための努力をしようとする人は、基本的になじむことができない職場です。これはどこの職場でも共通していることです。今、公民館職員としてスタートするにあたって、意欲、責任を持ち住民のためにベストを尽くすにはどうすれば良いかを考え、自覚して欲しいと思います。

現実として、公民館の仕事は楽しいことばかりではありません。わずらわしいことや日常の事務仕事



事業の運営会議

に追われたり、利用者から苦情を言われて悩むこと
もありません。しかし、トラブルを、自分をレベルアッ
プするチャンスととらえられる人と下を向いてしま
う人では、その後の自分自身の人間性を変えられる
かに大きくかわってきます。トラブルに愚痴を言
わない、不平・不満を言わない、と言つことをあなた
が実行すれば、あなたの人的魅力は一段とレベル
アップするでしょう。



イベントの司会

5 ラーメン

「公民館に異動して1年しかたっていないので公
民館のことが良くわかりません」という職員がいま
す。どの職場でも聞かれることですが、民間ではす
ぐ戦力外でしょう。このような言い方は「私はラーメ
ン店に就職して1年たったけど、一生懸命ラーメン
を作っていないし、作り方を学ぶ気もないし、作る気
もない」では、これまた戦力外。賃金を払えませぬ。

ところが、公民館では「努力をしないまま何年経っ
ても」まだわからない」「まだできない」で済む場合
があります。それで辞めさせられることもないし給
料は出ます。だから努力して良い事業を作り上げる

努力をしなくても良いと安易な気持ちになる人もい
ます。そして、いつのまにか、そんな自分を恥ずかし
いと思わなくなってしまう。「私だけではない…」
と自分をごまかす職員になっていきます。そうなっ
たらもう公務員ではありません。

6 本を読む

公務員としてもう一つ大事なことは、職員として
の自覚と力量を高めるために自分で学習する努力を
惜しまないことです。みなさんは、公民館職員として
の自覚や力量を高めるためにどんな努力をしていま
すか。

簡単なことは、ベテラン職員に聞くことです。が、
その職員も忙しいのでいつもあなただけのために相
手をしてもらえません。

その代わりに本を読むことです。自分から仕事の
ために本を買う職員なんて欲しいと思います。なぜ
なら、学習しなければ、住民の立場になってものを考
えることはできないし、役立つ仕事もできないから
です。1年に一冊は買って読んでください。肝心なこ
とは、本を買ってでも自分を向上させるという気持
ちです。自覚です。あなたは次のことが理解できて
いますか。住民に説明できますか。

- ① 公民館運営審議会の役割
- ② コミュニティセンターと公民館の違い
- ③ カルチャーセンターと公民館の違い
- ④ 自治公民館とは何か
- ⑤ 指定管理者制度とは何か ※本を読めば簡単です。

7 地域を知り 住民を知る

子どもたちが安心して遊べる広場や寺院がどこに
あるか知っていますか。あるいは無いことを知って
いますか。行ったことがありますか。虫が飛ぶ場所

を知っていますか。地域の伝統芸能を見たりかか
わったことがありますか。敬老会に参加できる高齢
者の数が予想できますか。これらはみんな地域に出
ないと解らないことばかりです。歩いてみると車で
は見えないものが見えたり、日ごろ話したことのな
い人と会話ができます。ふれあいが多く、情報源に
なったりします。公民館を空けることは容易ではあ
りませんがやってみる価値はあります。

もう一つは、公民館を訪れる住民の声やつぶやき
に耳を傾けることです。このことから、地域が見える
こともあり、逆に住民からは公民館の運営姿
勢がわかることもあります。

住民の声に、学習ニーズのヒントがあります。事業
企画に生かされるもので貴重です。

8 がんばれ新入生

あなたが熱心に仕事に励めるよう、先輩はみなさ
んを応援するはず。その心に応えましょう。失
敗から学び経験を重ねてたくましい職員になってく
ださい。いつも前向きで、職員としての自覚と責任を
持てる人は、きつと人間的にも魅力のある人になる
でしょう。そんな人はどんな職場にいつても重要戦
力となる存在になります。

本庁の仕事と大きく違う一つに、公民館の職員は
住民と顔を突き合わせて仕事をすることです。いい
事業満足される事業をすると参加者から笑顔や感
謝をされます。本庁の仕事では無いことです。

公民館の仕事は、基本的にはあまり規則にしばら
れず行えます。自分のアイデアや工夫でかなり自
由にできる職場です。前向きであればどんな企画
や実施ができます。満足できます。これは他の職場
ではなかなかできない経験です。

あなたの能力を公民館で開花させてください。

実践記録シリーズ

地域に根ざした 公民館分館事業

218

加茂市公民館

加茂市公民館には4つの分館があり、それぞれの地域ニーズ・地域環境に根ざした特色ある事業を行っています。また、地域交流の場として、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで幅広く集う魅力ある事業になるよう心がけています。ここでは各分館事業の一例を紹介いたします。

七谷分館

清流〈加茂川〉の上流域【七谷地区】の公民館活動を担っています。四季折々に彩りをかえ訪れる人々を魅了する明峰〈乗ヶ岳〉と水源池、日本一の花時計と県内最古の木造電車のある〈冬鳥越スキーガーデン〉、県内外から多くの方々を訪れる〈加茂市市民福祉交流センター〉「加茂美人の湯」などが所在する自然豊かで風光明媚な地域です。

毎年8月に、『納涼カラオケ大会』が開催されます。保育園児・小中学生から大人まで多くの方が参加します。また、踊りなどの披露もあり、舞台セットも本格的で歌う人も観客もとても楽しい賑やかなひと時を過ごします。



納涼カラオケ大会

下条分館

へラブナ釣りで有名な〈下条川ダム〉より流れる〈下条川〉が地域内を縦貫する【下条地区】の公民館活動を担っています。

毎年11月に、『地区作品展』が開催されます。分館ちぎり絵教室の受講者作品や書道など多くの力作が展示され多数の来場者の目を惹きつけます。



地区作品展

西分館

信濃川と三条市に隣接し、信濃川の肥沃な土壌を活かした〈果樹生産〉が盛んで高品質な果物の産地である【西地区】の公民館活動を担っています。

毎年5月に、小学校と地域が一体となった『地区民運動会』が開催されます。小学校の運動会と合同開催のため、子どもから大人まで家族みんなの声援が小学校グラウンドに響きます。



地区民運動会

須田分館

新潟市と三条市に隣接し、〈果樹生産〉と〈稲作〉が盛んで高品質な果物とお米の産地である【須田地区】の公民館活動を担っています。

地域内に小・中学校が1校ずつ所在することもあり、子どもたちの交通安全と地域交流を図るため『朝のあいさつ運動』を小・中学校玄関前で月3回実施しています。毎朝、元気にあいさつする大きな声が聞こえてきます。



朝のあいさつ運動

分館事業運営を支える人たち

各分館には公民館分館長・主事と分館推進委員(約20名)がおり、各種事業計画から準備・実施まで分館長・主事を中心に協力いただき行っています。仕事の合間や休日等に事業運営にご協力くださる分館推進委員さんは、正に、縁の下の力持ち的存在であり、本当に感謝しております。この場をおかりしてお礼申し上げます。

このように、分館事業は多くの地域の方々によって支えられ運営しております。今後も地域に根ざした内容・広く地域交流が図れる充実した事業にしていきたいと思っております。

(小柳 豪志)



今日もニコニコ
うらやま汗かっぴ

関屋卓友会

私達は卓球大好きのサークルです。会員は31名で、男性10名、女性21名、平均年齢74才、週1回位の練習をしています。コタツに入ってテレビを見るヒマがあったら、ラケットをにぎってボールを打つ、上手下手なく、楽しく汗をかき、会員相互の会話や親睦をはかることが目的ですが、卓球の基本は確実に守りながら練習をして居ります。

この他、年に1回、中学校卓球部と世代間交流交歓会を実施し、今年9月に第23回の交歓会を開催致します。



地域のデーチャン、バーチャンと中学生が一堂に会し、なごやかに過ごすことは他にはないこと、と思います。この交流交歓会は私達関屋卓友会が在る限り続けて行きます。

新潟市・関屋卓友会会長
高塚 勝吉 記

希望

ペン習字サークル「希望」

市民講座の終了からペン習字サークルを立ち上げ活動しています。

先生の用意して下さいのお手本で美文字を目指し練習に励んでいます。また、書体やペ



燕市・ペン習字サークル「希望」
齋藤 恵 記

の種類のよって文字に表情がでるので新しい発見があります。

練習日の前半では素晴らしい集中力で練習していますが、だんだんと、ゆるんでいき、書いた作品を見せっこしたりおしゃべりしたりと和気あいあいとした楽しい会です。

サークルの会員は、ベテランお姉様方ですが、向上心にあふれています。そんな姿を見てとてもステキなことだと思います。まさに、サークル名のとおり「希望」に満ちたサークルです。

胎内市生涯学習課社会教育係
主任 長谷川潤也さん



社会教育係2年目となった長谷川さんを紹介致します。1年目から県の美術展覧会及び市の美術展覧会担当として大勢の職員をまとめてバリバリ仕事をこなしていました。陶芸講座・彫刻講座等も担当し、時には陶芸施設の修繕なども自ら行います。胎内自然天文館も担当し、恒例イベントとなりつつある「宙(そら)ガール」等を実施しています。

類稀な運動神経の持ち主で、胎内市役所野球部のキャプテンとして、毎年のように全国大会に出場しています。(ちなみに高校時代には二度甲子園に行っているそうです。)2児の父親でもあり、子どもを保育園に送り迎えするなど家事に協力的でイクメンな一面もあります。

今後も社会教育係で活躍してくれることを確信しています。

(胎内市生涯学習課主任 森 敬史 記)

新発田市中央公民館事業係
主事 高橋 咲子さん



昨年、新採用として我が職場に配属となったフレッシュな新人高橋さんをご紹介します。

彼女はとにかくアクティブ!お仕事はもちろん、趣味にボランティアに毎日大忙しです。そんなハードスケジュールにも関わらず、いつも笑顔の咲子さん。礼儀正しく責任感もピカイチです。

さらに彼女のユーモアセンスは抜群で、毎日の昼食時には何度腹筋崩壊の危機にあったことか…。もはや数え切れません。

1年目からエンジン全開だった高橋さん。元気の秘訣を尋ねると、他人とおしゃべりすると元気をもらえるとのこと。市民と触れ合う機会の多い公民館はまさに天職のようです。

2年目に入りますます公民館になくてはならない存在になっていく高橋さん。そんな彼女のこれからの活躍に、皆さんもご期待下さい。

(新発田市中央公民館 小柴明衣子 記)

素顔拝見

お元気ですか

「困っていますか」

池田 茂
(甲上町)



最初とても困っていることがありました。

それは、書道に絵画、甚句太鼓や陶芸とやりたい事が沢山ありすぎるのです。

どれも好きすぎて、一つに絞れませんので、現在は全ての活動に参加しました。今はとても毎日充実した日々をすごしています。これは現役のときよりも充足しているのか

もしれません。

わが町で毎年行われている文化祭に皆さんと一緒に出品するために、土を捏ねたり

キャンパス等に向かったりしていますし、太鼓は周囲の認知度も増え、地元の小学校に教えに行ったり、要請があれば各行事に参加したりしています。その中で老若男女の交流は、私がこのように多趣味

でなければ、無かった経験だと思っております。

現在では、人に教えるようにもなり、また違った楽しみも出来てしまいました。

現在、とても困っていることが2つあります。

一つは、このようにとても多忙でも毎日が楽しすぎて、これで良いのかということと、もう一つは、この他にやりたい事ができてしまつてという事です。どうも私の欲求は尽きる事が無いようです。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

恵贈資料紹介

「新潟市西区

地域デザイン講座のあゆみ」 新潟市坂井輪地区公民館

この冊子は新潟市内全区で行われている「コミュニティ・コーディネーター育成事業」のうち西区で行われている事業について紹介しています。

西区ではコミュニティ・コーディネーターを「地域課題に気づき、困っている人や地域課題に対して、応援したい人や地域支援をつなぎ、課題解決へ導ける人」と定義しています。こうした人材を育てるべく平成23年度から検討を始め、平成27年度までに3期の講座

を開催してきました。

本冊子ではこれらの講座をどのように運営し、コミュニティ・コーディネーターを育成したのかを各年度の取組をまとめてあります。



全38ページで、各年度の取り組みを、実践事例で紹介しながらわかりやすく編集してあります。

「この冊子が単なる活動紹介だけでなく、地域の課題解決や人材育成の一助として活用していたければうれしく思います」

坂井輪地区公民館長 山田久美子
問い合わせ： 新潟市坂井輪地区公民館

〒950-0120 055

TEL 025・269・2043

土砂災害防止月間

～みんなで防ごう土砂災害～

6月は「土砂災害防止月間」です。

土砂災害から人命・財産を守るため、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備を推進するための取組みに協力しています。

新潟県治水砂防協会

会長 (出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

新潟日報「声」にこんな記事が載りました。
「最近よく耳にする言葉で違和感があるのは「〇〇を与えたい」という表現だ。
例えば「これからもファンに夢を与えたい」「被災している人たちに勇気を与えたい」など。「上から目線」のよ

うな印象を受けてしまう。本来は与える」とは、目上の人から目下の人に「向かって使う言葉ではないだろうか。もっとふさわしい表現があると思うのだが。」(長岡市 67歳) まったく同感です。もう一つ。おしつけがましい表現に「ホームラン」信じていると「ボードに掲げている人がいますが、勝手に信じられていては選手も迷惑だと思いませんか。(田原)